

R5年度 モコ山崎保育園 園評価

アンケート結果より

いただいたご意見は、園の取り組みへの理解として評価したい。また、ご意見によって保護者が心配に感じられていた事を説明したり確認できたことはアンケートを行って良かったと思う点だ。丁寧に個々を尊重した「ねらいを持った保育」を行う事は園として当然なことだが、保護者にまで「個々のねらい」が伝わっていたかまでは今回のアンケートで読み取ることが出来なかった。

玄関掲示や子どもの様子の配信等、今期始めた事ばかりなので浸透するにはまだ時間が掛かるのかもしれないと感じた。保護者の方々と信頼関係を結ぶ上でも、送迎時や日々の配信や掲示は大きなツールとなると思う。

子ども達が成長していく姿を保護者と共に喜び合える関係性築き、保護者が子育てについて相談しやすい信頼関係を築いていきたい。

職員評価

今年度初めは、昨年に引き続き「応答的な対応」や「子どもが折り合いをつけられるような保育をする」を意識して保育を行った。当初目標にあげていた保育は、期が始まりすぐに達成することが出来たように思う。

また、繋がる保育や遊びを広げる上で環境はとても大きい要因であることを、子どもの姿から改めて実感し手立てを考えなければと保育士間で声が上がってくるようになったことは大きな成果と捉える。また、保育は日々の振り返りがスタートであり、振り返りから反省したり発見したり手立てを考え、次へつながっていくことも改めて重要だと感じられるようになった。

保育士が保育への「ねらい」や「願い」を持つことがいかに大切であることも改めて感じた後半だった。

園評価

何に対しても「意味」や「ねらい」・「願い」を考えることを徹底した後半だった。また当たり前になっていた園の風習や風土を見直すことにより、玄関掲示・行事への取り組み・絵本読み聞かせの仕方・机上あそび・自然活動や泥遊び経験が意味を持った取り組みとなった。またそれらが子ども達のやる気や自信へとつながっている事は成果だと感じる。

そのような子どもの様子や保育士の思いを、ドキュメンテーションの配信や日々の様子の掲示などで保護者へ伝えていくにはもう少し時間がかかるように思う。今期保育を見直し新しく取り入れた保育は来期へつながり、モコ山崎保育園の風土となると感じる。